

書誌第102号追

# 本州北西岸水路誌

追補第1

令和4年（2022）7月15日発行



海上保安庁

# 本州北西岸水路誌

## 追補第1

この追補は、令和4年3月刊行の本州北西岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和4年6月24日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和4年7月15日

海上保安庁海洋情報部

## 注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所(表題、港名等)	備考
14	海図	
20	AISによる船舶の自動識別	
56	萩港	
77	西郷港	
88	安来港	
119	福井港	
133	松鼻～観音埼{七尾南湾、七尾西湾}	
150	直江津港	
165	赤泊港	
167	小木港	
173	酒田港	

## 第 7 章 航行に関する諸注意

## 海上訓練区域

この水路誌の記載区域内で、在日アメリカ合衆国軍が訓練を実施する海上訓練区域は次のとおりである（最新の水  
路通報別冊「在日アメリカ合衆国軍海上訓練区域一覧表」及び特殊図第 6973 号「日本近海演習区域一覧図」参照）。

## 空軍訓練区域

## 九州空戦訓練区域（本州北西岸、角島西方）

区 域 下記 4 地点を順に結んだ線で囲まれる区域

- |                   |                |                   |                |
|-------------------|----------------|-------------------|----------------|
| (イ) 34° 51' 11" N | 130° 35' 06" E | (ハ) 34° 08' 52" N | 130° 29' 01" E |
| (ロ) 34° 43' 31" N | 130° 52' 01" E | (ニ) 34° 16' 57" N | 130° 12' 37" E |



訓練の種類 空対空訓練

訓練時間 月曜日～金曜日 0700～1700

なお、日本周辺では海上保安庁、防衛省、在日アメリカ合衆国軍の艦艇及び航空機等による射撃、爆撃訓練等の各種訓練が実施されており、これらについては航行警報などで通報される。

## 海 図

**海図の基準** 海上保安庁では、乗揚げ海難の防止を図るため航海上必要な海図の基準を設け、次の指導を行っている。

## 1 航海安全上必要な海図等の備え付け

日本周辺海域を航行する船舶は、下表に従い、航海を予定している海域の海図を備え付ける。

また、水路誌、潮汐表、~~漁具定置箇所一覧図~~等、航海を予定している海域の状況を把握するために必要な航海用刊行物についても備え付ける。

航海を予定する海域の区分	航海安全上必要な海図
日本領海以遠（日本領海へのアプローチに係る海域に限る）	50 万分の 1 より大縮尺の海図
日本領海内	25 万分の 1 より大縮尺の海図
港則法の適用がある海域	航行を予定する海域に係る海図のうち、最も大縮尺の海図

## AISによる船舶の自動識別

AIS (Automatic Identification System : 船舶自動識別システム)とは、船舶の識別符号、船種、船名、長さ及び幅などの静的情報、位置、針路、速力、船首方位などの動的情報、仕向け港、到着予定時刻などの航行関連情報を自動的に VHF 帯電波で送受信し、船舶相互間及び船舶局と陸上局の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステムである。

港則法施行規則第 11 条第 1 項の規定に基づき、進路を他の船舶に知らせるために船舶自動識別装置の目的地に関する情報として送信する記号（平成 22 年海上保安庁告示第 94 号）を適用港の港コード一覧表（本誌記載区域内の港湾を抜粋）として掲載した。

なお、仕向け港での進路を示す記号は第 3 編沿岸・港湾記各適用港に掲載した。

詳細は下記 URL を参照されたい。

URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/syoukai/soshiki/toudai/navigation-safety/pdf/ri-hu.pdf>

## 適用港の港コード一覧表（本誌記載区域内の港湾を抜粋）

\* 入力時：コード入力前に「>JP」を入力する。

青森県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
鱒ヶ沢	AJK	青森	AOM	深浦	FKK	川内	KAW
小湊	KMN	小泊	KOD	三厩	MNY	野辺地	NHJ
大間	OAX	大畑	OHT	大湊	OMT	佐井	SJA
尻屋岬	SYZ	平舘	TDT	脇野沢	WKW		
秋田県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
秋田船川	AFG	本荘	HON	平沢	HSW	北浦	KJT
金浦	KNO	象潟	KST	能代	NSR	戸賀	TOJ
山形県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
加茂	KMO	鼠ヶ関	NEZ	酒田	SKT	由良	YUJ
新潟県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
羽茂	HMC	姫川	HMK	岩船	IWH	新潟	KIJ
柏崎	KWZ	直江津	NAO	能生	NOU	小木	OGI
両津	RYO	寺泊	TRD				
富山県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
伏木富山	FTX	氷見	HMJ	魚津	UOZ		
石川県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
穴水	ANM	福浦	FRJ	飯田	IDA	金沢	KNZ
七尾	NNO	小木	OII	滝	TKI	宇出津	UST
輪島	WJM						
福井県							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
福井	FKJ	小浜	OBM	敦賀	TRG	内浦	UCU
和田	WDA						
京都府							
港名	コード	港名	コード	港名	コード	港名	コード
浅茂川	AMG	本庄	HNJ	伊根	INE	久美浜	KMH

## 針路法

### 1 西方から

相島の南方約 1.8M の所から、針路 090° で羽島北端に向首して進み、尾島の西端正横から針路 130° で港の中央に向かうとよい。この場合、ツバ瀬 (34° 26.1' N 131° 21.1' E、最小水深 1.7m) 及び観音喰合瀬 (34° 26.7' N 131° 23.3' E、灯浮標がある) に注意を要する。また、この針路は、田床山山頂のテレビ塔と萩港浜崎北防波堤灯台とのほぼ見通し線上にある。

### 2 北方から

相島、尾島間のほぼ中央を南下し、以後 1 の針路法による。

### 3 東方から

櫃島～大島、肥島～大島間及び肥島～羽島間のほぼ中央を適宜通過し、港口中央に向かう。また、尾島～肥島間は、ほぼ中央に羽島礁 (34° 29.1' N 131° 21.5' E) (水深 3.6m) があるので通航しないほうがよい。

**入港上の注意** 船引き網漁業が行われ、狐島の東方の潟港 (34° 26.4' N 131° 25.1' E) 入口付近及び浜崎商港入口北側付近で、操業することがあるので注意を要する。

**水先** 水先法にいう水先区ではないが、潟港に 4,000 t 級の木材船が入港する場合は、関門水先区水先人会 (TEL:093-332-2384) が要請に応じる。水先人乗船地点は、笠山の南西方 1.1M 付近である。

## 港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (t×隻)	備考
- 4m 岸壁	34° 25.7' N 131° 24.9' E	延長 445	2~3	-	萩 (中小畑) 漁港、突堤南側
潟港岸壁	34° 26.2' N 131° 25.2' E	110	5~6.5	3,000×1	
- 4m 物揚場		38	5.5	-	潟港岸壁の東側
- 4m 岸壁	34° 26.8' N 131° 24.6' E	157	3.5~4	-	萩 (越ヶ浜) 漁港

**錨地** 小畑浦、中小畑浦及び菊ヶ浜前面は底質が泥又は細砂であるが、北西の風が 10m 以上になると走錨のおそれがある。

潟港の中央部は四方の風を防ぎ避泊地として最適であるが、狭いので錨泊する船舶は 500 t 程度が限度である。

**台風・津波等の異常気象時の対策** 本港では、台風・津波襲来時等、異常気象時における事故を未然に防止するため、萩港台風等対策協議会が設置され、在港船舶等に対し、異常気象時における各船舶がとるべき措置を定めている。

また、異常気象時においては、港長から、異常気象時における各船舶がとるべき措置について、港則法に基づく勧告等がなされることがあることから、留意すること。(問合せ先：萩海上保安署)

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
萩海上保安署 (港長)	0838-22-4999	門司税関下関税関支署萩出張所	0838-25-5120

**補給** 清水の補給ができる。給油船がある。

## 医療施設

名称	電話番号	備考
萩市民病院	0838-25-1200	

**海上交通** 見島、相島及び大島に至る旅客船便またはカーフェリー便があり、浜崎商港から発着している。

る。

湾口が狭く入港が困難であるが、湾内は錨かきが良い。北方支湾の奥に重栖《オモス》港がある。

**西 郷 港** (36° 12.1′ N 133° 20.3′ E) (海図W1173、W1190) (JP SAI)



(2020年6月撮影)

**港種** 港則法適用港、重要港湾

**概要** 島後南東岸の湾入部にある港で漁港でもある。この港は島後唯一の天然の良港で、港内は、沖防波堤北側の東防波堤基部と港口東角の**万古《バンコ》山**(36° 11.9′ N 133° 20.4′ E)の岬端とを結んだ線の北側が港湾区域、西側が漁港区域でそれぞれ商港地区、漁港地区と称している。

**北浦**は、四方の風を防ぐ好避泊地である。

隠岐諸島における海上交通の中心地で、本土～隠岐諸島間及び島前～島後間の各連絡船が発着する。

**潮流** 港内の潮流は、微弱である。

**副振動** 同港には30～40分を周期とする海面の昇降があり、その昇降は0.3mに達することがある。

**目標**

地物名	概 位	備 考
金峯《キンブ》山	36° 12.0′ N 133° 20.8′ E	高さ199m、山頂付近にテレビ塔（高さ216m）がある。
姫 島	36° 11.8′ N 133° 20.3′ E	高さ0.8m、灯標がある。
飯ノ山	36° 11.5′ N 133° 19.0′ E	高さ237m、東～南東方からは台形に見える。
愛岩山	36° 11.7′ N 133° 19.8′ E	高さ194mの鋭峰
ホテル	36° 12.2′ N 133° 19.9′ E	白色、9階建、西郷一の高層建築、顕著
無線塔	36° 12.2′ N 133° 19.7′ E	NTTパラボラアンテナ（高さ52m）、顕著
西郷大橋	36° 12.1′ N 133° 19.4′ E	高さ18m、赤色、橋梁灯がある。

**針路法** 西方から入港する場合は、白埼から港口付近の定置網に十分注意し、安全な離隔距離を保ち、**金峯山**(36° 12.0′ N 133° 20.8′ E)を350°に見るようにして進み、**烏貝埼**を正横に見る所で徐々に左転して港口に向かい、次いで針路適宜で進入する。

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
島根県松江県土整備事務所 広瀬土木事業所	0854-32-2031		

## 松江港 (35° 27.3' N 133° 08.4' E) (海図W1174分図) (JP MTE)



(2020年6月撮影)

**港種** 港則法適用港

**概要** 宍道湖の東部、中海の西部及び両者を結ぶ大橋川を港域とする港である。大橋川河口右岸は通称馬潟地区と呼ばれている。

**目標** 大橋川河口右岸 (35° 27.1' N 133° 08.2' E) にある多数のタンク、サイロ及び煙突 (3本) は目標になる。

**架橋** 大橋川河口に中海大橋 (35° 27.1' N 133° 07.5' E) (高さ約17m) がある。

**水路** 港界付近から馬潟岸壁に至る水路 (幅約50m) は灯浮標及び浮標で示され、大橋川河口から同川上流にあるくびき大橋 (35° 28.0' N 133° 03.6' E) までの水路は、水深4mに掘下げられているというが、通航には同水路に明るいことを必要とする。

## 港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (t×隻)	備考
馬潟岸壁	35° 27.2' N 133° 08.2' E	280	3.5~5	1,000×4	東側に貯木場がある。
東朝日町物揚場	35° 27.9' N 133° 04.3' E	170	3	500×2	遊覧船発着
伊勢宮物揚場	35° 28.0' N 133° 03.7' E	60	2	500×2	遊覧船発着

上表のほか、会社専用の栈橋がある。

## 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
中国運輸局島根運輸支局	0852-38-8111	島根県松江県土整備事務所	0852-32-5719
広島出入国在留管理局松江出張所	0852-21-3834		



~~危険物積載船が錨泊するときは、福井区に錨泊しなければならない。~~

**台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、福井港災害事故防止対策協議会 台風対策委員会、同船舶津波対策委員会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：福井海上保安署）。

#### 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
福井海上保安署（港長）	0776-82-4999	大阪税関敦賀税関支署福井出張所	0776-22-1832
名古屋出入国在留管理局福井出張所	0776-28-2101	福井県福井港湾事務所	0776-82-1120

**引船** 引船がある。

**補給** 三国区で清水、燃料油及び氷が補給できる。福井区は北ふ頭の各岸壁で清水の補給ができる。

**修理** 福井区の北ふ頭西方に上架施設（100 t）がある。

#### 医療施設

名称	電話番号	備考
坂井市立三国病院	0776-82-0480	

### 安島岬～滝崎（海図W1169）

**概要** 安島岬～滝崎間の約 50Mは、一帯が砂浜でおおむね北東方へ延び、塩屋港、橋立漁港、金沢港、滝港（36° 55.2' N 136° 45.4' E）（港則法適用港）（JP TKI）などの諸港がある。

**潮流** 橋立漁港～金沢港の沿岸では、上げ潮流は陸岸に向かい、下げ潮流は反対の方向へ流れるようであり、上げ潮時に約 0.9kn の向岸流を測定したことがある。

滝港の沖合では、上げ（下げ）潮流は南方（北方）へ流れ、流速は 0.3kn 以下である。

#### 目標

地物名	概位	備考
加佐ノ岬	36° 21.1' N 136° 18.0' E	岩の岬上に灯台がある。
滝崎	36° 55.7' N 136° 45.0' E	長く続く砂浜の北端で灯台がある。その南東側は低地が能登半島の東岸まで続く。

## 松鼻～観音埼〔七尾南湾、七尾西湾〕（海図W121）

## 七尾南湾

**概要** 小口から南西方へ約 6M湾入し、最大幅約 3.5M、水深 18m以下で各種船舶の好泊地になるが、小島や浅礁が多い。

松鼻の東方 0.5～1.3Mの間及び観音埼の東方 1M付近に定置網（周年）がある。湾内にほぼ全域を港域とする七尾港がある。

小口（37° 06.9′ N 137° 03.1′ E）は、松鼻～観音埼間にあり、浅礁が多く最小可航幅は約 250mであるが、水路は能登島指向灯の白光内及び数個の灯浮標等で示される。

**潮流** 一般に上げ（下げ）潮流は西方（東方）へ流れ、流速は 0.3kn 程度である。

## 目標

地物名	概位	備考
観音埼	37° 06.4′ N 137° 03.5′ E	樹木の繁茂している低い埼、灯台がある。
タンク	37° 06.2′ N 137° 01.9′ E	薄緑色、LPGタンク（備蓄用）
小泉埼 〔荒神鼻〕	37° 06.7′ N 137° 01.4′ E	指向灯がある。
寺島	37° 06.3′ N 136° 59.6′ E	高さ 29m、湾内最大の島である。

## 七尾西湾

**概要** 東西の長さ約 4M、幅約 3M、水深は 10m以下で海岸は遠浅、水深は 5m以下の所が多く、南西部は、カキの養殖施設で占められている。

東岸に半ノ浦港（37° 07.0′ N 136° 56.1′ E）があり、南岸中部には和倉港（37° 05.6′ N 136° 55.0′ E）がある。

## 目標

地物名	概位	備考
能登島大橋	37° 05.3′ N 136° 56.5′ E	高さ約 17～21m、橋梁灯がある。屏風瀬戸
中能登農道橋	37° 08.2′ N 136° 54.2′ E	高さ 11m・19m、橋梁灯がある。三ヶ口瀬戸

東ふ頭	1号岸壁	37° 11.4' N 138° 15.4' E	130	9.5	5,000×1	
	2号岸壁		240	8~10.5	15,000×1	
	3号岸壁	37° 11.5' N 138° 15.4' E	185	8~10	15,000×1	
	4号岸壁	37° 11.6' N 138° 15.5' E	170	10	12,000×1	ガントリークレーン、耐震岸壁
	5号岸壁	37° 11.7' N 138° 15.7' E	130	6	5,000×1	危険物用
	漁港区岸壁	37° 11.8' N 138° 16.0' E	385	4.5~7	256t×1	
中央ふ頭	1号岸壁	37° 11.1' N 138° 15.1' E	130	4.5~5	5,000×1	
	2号岸壁	37° 11.2' N 138° 15.0' E	185	8~8.5	15,000×1	
	鉱産品岸壁	37° 11.4' N 138° 15.2' E	270	11.5~13	50,000×1	
	木材岸壁	37° 11.3' N 138° 15.3' E	185	8~10	15,000×1	
内貿ふ頭 北岸壁	2号	37° 11.1' N 138° 15.2' E	60	3.5~4.5	700×1	
	3号	37° 11.1' N 138° 15.3' E	120	2.5~4	700×1	
内貿ふ頭 南岸壁	1号	37° 11.0' N 138° 15.1' E	200	7.5~9.5	6,000t×1	佐渡汽船用、耐震岸壁
	3号	37° 11.0' N 138° 15.2' E	75	4.5	700×1	
	4号	37° 11.0' N 138° 15.2' E	120	4~4.5	700×1	
	5号	37° 11.0' N 138° 15.3' E	60	3	700×1	
西ふ頭	1号	37° 11.0' N 138° 14.9' E	174	7~8.5	15,000×1	アンローダ1基
	2号	37° 11.1' N 138° 14.9' E	185	7.5~8.5	15,000×1	

**最大入港船舶** 2018年10月31日、LNG船 PACIFIC BREEZE (144,978 t、喫水 12.2m) が JERA 上越火力発電所 LNG 受入栈橋に着岸した。

**台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、直江津港船舶津波・台風等対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：上越海上保安署）。

#### 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
上越海上保安署（港長）	025-543-4118	新潟検疫所直江津出張所	新潟空港出張所 025-275-4615 へ連絡
東京税関新潟税関支署直江津出張所	025-543-2388		
横浜植物防疫所新潟支所直江津出張所	025-543-0648	新潟県上越地域振興局 直江津港湾事務所	025-543-4167

**引船** 引船がある。

**補給** 清水及び燃料油の補給ができる。

**修理** 修理所はあるが、上架施設はない。

#### 医療施設

名称	電話番号	備考
上越総合病院	025-524-3000	
新潟労災病院	025-543-3123	

**海上交通** 小木港 {佐渡島} との間にジェットfoil便がある。(冬季運休)

**錨地** この港は、北西の風を避けるのに良く、錨地に適する水深 10～30m 付近は、底質細砂である。ただし、同付近は、漁具が設置されているので注意が必要である。

**港湾施設**

名 称	概 位	長 さ (約m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
北ふ頭 1 号岸壁	37° 52.2' N 138° 25.0' E	180	5.5	2,000×2	
中央ふ頭 1 号岸壁	37° 52.1' N 138° 24.9' E	100	5	2,000×1	
中央ふ頭 2 号岸壁	37° 52.2' N 138° 24.9' E	100	5～5.5	2,000×1	
南ふ頭 1 号岸壁	37° 52.0' N 138° 24.9' E	140	5.5	2,000t×1	カーフェリー発着
南ふ頭 2 号岸壁	37° 52.0' N 138° 24.6' E	120	3.5～4	700×2	

**補給** 清水の補給ができる。

**羽 茂 港** (37° 49.4' N 138° 18.9' E) (海図W1293) (JP HMC)



(2020 年 4 月撮影)

**港種** 港則法適用港、重要港湾

**概要** 佐渡島南岸西部にある港で漁港でもある。味噌や米の積出し港として、また、佐渡島南部のセメント基地として利用されている。港湾法上は、小木港の港湾区域に含まれる。

**目標**

地 物 名	概 位	備 考
サイロ	37° 49.7' N 138° 18.4' E	
煙 突	37° 49.7' N 138° 18.7' E	高さ 27m

## 港湾施設

名称	概位	長さ (約m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
北ふ頭	1号岸壁	37° 48.9' N 138° 16.9' E	170	6~6.5	—	カーフェリー発着
	2号岸壁	37° 48.9' N 138° 17.1' E	210	7	6,000t×1	カーフェリー発着
	3号岸壁	37° 48.9' N 138° 17.2' E	100	5.5	2,000×1	
中央ふ頭	2号岸壁	37° 48.9' N 138° 16.9' E	137	4	1,000×1	
	3号岸壁		120	3.5	1,000×1	
南ふ頭南岸壁	37° 48.8' N 138° 16.8' E	60	3	700×1		

**避泊上の注意** 風向が東から南に変化すると、強風となることが多い。

**補給** 清水の補給ができる。

**海上交通** 直江津港との間にジェットfoil便がある。(冬季運休)

## 第8節 新潟港～龍飛埼 (海図W144)

## 新潟港～酒田港 (海図W145)

**概要** この間には、岩船港、鼠ヶ関港、大波渡湾、由良港 (38° 43.2' N 139° 40.7' E : 海図W1153) (港則法適用港) (JP YUJ)、加茂港などがある。荒川は、阿賀野川河口の北東方約18Mの所で海に注ぐ。

距岸1Mで、おおむね20m以上の水深になる。加茂港～酒田港間は砂浜が続いている。

**大波渡湾** (38° 41.3' N 139° 38.1' E) は、鼠ヶ関港の北北東方約9M、波渡埼 (灯台がある) の東側にある開湾で5m以上の水深があり、東～南の風のときの仮泊地になるが、大波のあるときには錨泊できない。

## 目標

地物名	概位	備考
石油開発台	38° 07.9' N 139° 20.3' E	白灯がある。台から南西方へ、陸岸に至る海底管(油)がある。
大島埼	38° 23.4' N 139° 27.3' E	埼上の山は高く、埼の前面に大島(赤茶色の小岩島)がある。
粟島	38° 27.2' N 139° 14.3' E	島頂の小柴山(高さ266m)は島の中央からやや南寄りにあり、灯台がある。西岸はほとんど岩海岸で、東岸は群石岸が多い。
月山	38° 33.0' N 140° 01.6' E	高さ1,984m
無線塔	38° 36.8' N 139° 35.3' E	2基、それぞれ赤灯を点ずる。
温海《アツミ》岳	38° 37.2' N 139° 37.8' E	高さ736mで鋭頂
立岩	38° 38.8' N 139° 35.7' E	高さ59mの黒色突岩
留棹庵《リュウトウアン》島	38° 41.3' N 139° 37.1' E	高さ3.7m、灯標がありレーダの目標に良い。
荒埼	38° 45.8' N 139° 43.4' E	灯台がある。

上保安部では、沿岸海域での錨泊自粛を指導している。また、荒天時には、走錨事故防止のため酒田港（北港泊地）での錨泊自粛を指導している。

**台風・津波対策** 台風・津波等による海難事故を防止するため、山形県船舶安全対策協議会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している（問合せ先：酒田海上保安部）。

#### 海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
酒田海上保安部（港長）	0234-24-0055	仙台出入国在留管理局酒田港出張所	0234-22-2746
東京税関酒田税関支署	0234-22-1024	山形県港湾事務所	0234-26-5633
東北運輸局山形運輸支局酒田庁舎	0234-22-0084	仙台検疫所酒田出張所	秋田船川出張所 018-846-8280 へ連絡

**引船** 引船が3隻ある。

**補給** 清水、燃料油の補給ができる。給油船がある。

**修理** 造船所（最大上架能力499t）及び鉄工所がある。

#### 廃油処理施設

事業者名	申込先	利用時間	処理する廃油の種類	
			廃重質油	廃軽質油
山形県	山形県県土整備部港湾事務所 TEL 0234-26-5633	0830～1700	ビルジ	

#### 医療施設

名称	電話番号	備考
日本海総合病院	0234-26-2001	

**海上交通** 飛島漁港との間に定期船便（253t）があり、東ふ頭船場町第2岸壁から発着する。

### 粟 島 (38° 27.2' N 139° 14.3' E) (海図W1153)



(2020年12月撮影)

**概要** 岩船港の北北西方約18Mにあり、長さ約7km、幅約2kmで、新潟県に属し全島一村を成し、島民は、東岸の内浦及び西岸の釜谷に居住する。内浦の前面に粟島漁港があり、岩船港間の定期船便がある。

島の西岸はほとんど岩海岸で、東岸は群石海岸が多く、西、北岸は、距岸0.6M以内に孤立礁があるが、東岸には、障害物はほとんどない。

**粟島泊地** (38° 28.8' N 139° 15.9' E) は、東岸の北部にある東方に開いた泊地で、西寄りの風に対し